

現代イスラーム世界における伝統的相互扶助制度の再興と新展開 ——マレーシアのワクフ制度に注目して——

佐伯 香織

2021年入学

派遣先：京都府相楽郡など

期間：2021年12月13日から2021年12月22日

キーワード：ワクフ制度、現代マレーシア、イスラーム金融、相互扶助、
慈善、社会福祉

研究全体の概要

本研究は、ワクフ制度と呼ばれるイスラーム世界独自の財産寄進制度に焦点を当て、その再興が見られるマレーシアに着目し、その実態を解明することを目指す。

ワクフ制度とは、収益化できる財産を持つ者が、そこから得られる収益を特定の慈善目的に永久に充てるため、財産の所有権を放棄する行為のことを指す。イスラーム世界において長きに渡り機能してきたワクフ制度も、近代以降は西欧列強による植民地化の流れに押され、衰退していった。

しかし近年、このワクフ制度を、再び活性化させる動きが見られている。ワクフ制度再興のフロンティアとして位置づけられるマレーシアでは、政府が率先してワクフ制度を再興し、また、発展させるために様々な施策を実施してきた。本研究では、同国のワクフ制度について多角的に分析することで、ワクフ制度の再興の理由を探求するとともに、イスラーム世界の相互扶助のネットワークについても明らかにすることを目指す。

研究の背景と目的

本研究の目的は、イスラーム世界における相互扶助、特にワクフと呼ばれる独自の制度の現代的実践の実態を明らかにすることである。そのために、ワクフの再興が見られるマレーシアに注目する。2000年代以降、それまで形骸化していたワクフ制度を再び活性化させる動きが生まれてきている。ワクフ制度をそのまま再活性化させるだけでなく、新技術を組み合わせ、時代に即した形での再興も見られる。実際に、ワクフ制度はいくつかの国で持続可能な開発を伴う社会経済の改善に寄与する追加収入を生み出してきている [Nagaoka 2014]。マレーシアでも近年、ワクフの再活性化に注目が集まるようになった [Norzilan 2019]。そのため、ワクフ制度に関する研究は数多くあるものの、それが再興してきた理由について言及している先行研究は見当たらない。よって、「マレーシアのワクフ制度再興の背景にはどのような経緯や要因があるのか？」という問いを立て、考察を行う。

調査から得られた知見

本調査では、国立国会図書館関西館及びアジア経済研究所図書館での資料収集と、千葉イスラーム文化センターの代表へのインタビュー調査を行った。

はじめに訪れた国立国会図書館関西館では、マレーシアのワクフ制度をより正確に把握するために、ワクフ制度を取り扱った英語文献や最新のマレーシアの動向調査、マレーシアの法制度に関する文献等、貴重資料を収集した。

また、計5日間滞在したアジア経済研究所図書館においては、マレーシアの政治や社会の動向が細かく書かれた文献を収集し、ワクフ制度再興の流れを政治・社会面から検討する分析の枠組みを得た。また、シリーズとしてイスラームの都市的側面を分析した論文集を収集・読解したことで、ワクフをイスラームの都市性から考察するというより広い視座も得ることができた。

さらに、千葉イスラーム文化センターでの代表への聞き取り調査では、イスラーム世界でのワクフ制度の再興は、ダアワ運動と深い関わりがあるのではないかと重要な視点を得られた。また、当施設が日本在住のムスリムから寄付金を募り、それをザカートとしてイスラームへの新たな改宗者やその可能性を持つ人々へ分配を行った活動についても詳細な情報を得ることができた。それから、当センターの活動目的である日本在住のムスリムと日本人との交流促進のため、試行錯誤しながら非ムスリムでも参加しやすいようなイベント作りを行っていることも聞き取ることができた。この試みにより、実際にムスリムと日本人が相互理解を深め、結びつきを深めているとのことであった。

今後の展開

今後は、今回の調査で入手した資料に加え、今保有しているデータを用いて、ワクフ制度再興の理由を解析していく。今回得た資料の中には、マレーシアの首相の動向を細かく記した資料が存在する。そのため、まずはその資料と作成中の新聞記事データベースを組み合わせ、より正確に首相の発言や政策をワクフ制度の再興の流れと結びつけて行く予定である。さらに、マレーシアの法制度に関する文献を解析することで、法制度の面からワクフ制度を捉えることにも尽力していく。そして最終的には、「マレーシアのワクフ制度再興の背景にはどのような経緯や要因があるのか？」という問いに対する答えを導き出すことを目指す。

参考文献

- Norzilan, N. I. 2018. "Waqf in Malaysia and Its New Waves in the Twenty First Century," *Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies* 11. pp. 140-157.
- Norzilan, N. I. 2019. "The Revitalization of Waqf Institutions as an Islamic Social Welfare System; A Case Study in Malaysia," *Kyoto University Graduate School of Asian and African Area Studies*. Ph.D. thesis.
- Shinsuke Nagaoka. 2014. "Resuscitation of the Antique Economic System or Novel Sustainable System? Revitalization of the Traditional Islamic Economic Institutions (Waqf and Zakat) in the Postmodern Era," *Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies* 7. pp. 3-19.
- 林佳世子. 2002. 「ワクフ」大塚和夫ほか編. 『岩波 イスラーム辞典』岩波書店. pp. 1076-1078.

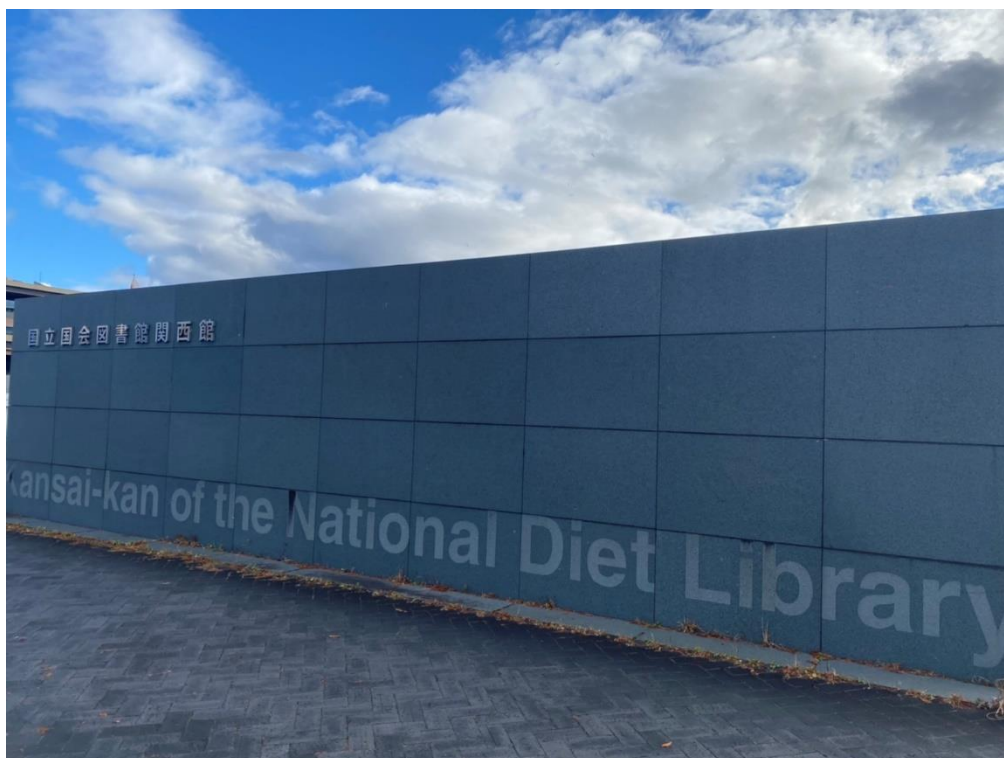


写真 1 : 国立国会図書館関西館 外観



写真 2 : アジア経済研究所図書館 外観